

菜園くらぶ

監修/帖地 近行



用意するもの(1㎡当たり)

- タネイモ6個 ■ 苦土石灰(50g) ■ 元肥(完熟堆肥1kg+4握り、化成肥料100g) ■ 追肥、化成肥料25g(1回分)
- 木灰 ■ 枯れ草やわら※「窒素8:リン酸12:カリ20や8:14:16」タイプのものを使い、追肥用は10:10:10タイプを使う。

栽培カレンダー(秋植え)

| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| | | | | | | | ● | | | | ● |
| | | | | | | | | | | | ● |

● 植え付け ● 収穫

【ナス科・南米アンデス山脈原産】
ジャガイモは春と秋の年2回植え付けができますが、高温や過湿、霜に弱いいため秋植えは特に注意が必要です。生育の適温期間が短いので春作ほどたくさんは取れませんが、年末に新じゃがを楽しめます。



高温多湿と霜に弱いので
秋植えは注意!

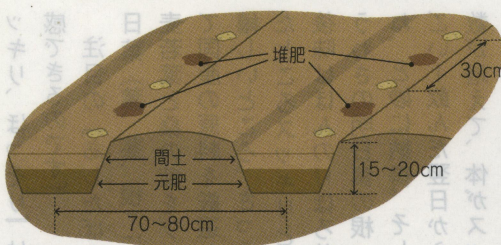
ジャガイモ(秋植え)

収穫まで
約3カ月半!

栽培手順

① 植え付け

植え付けの2週間前に苦土石灰を全面散布してよく耕しておく(前作で石灰を使用したときは省いても可)。1週間後に70〜80cm間隔で深さ15〜20cmの溝を掘り化成肥料と堆肥を施し、掘り上げた土を少し戻してよく混ぜ、間土(肥料を含まない土を元肥と苗の根の間に入れる)をする。
タネイモは切らずに木灰をまぶし、株間30cmで定植する。イモとイモの間に堆肥を一握り入れて10cmぐらい土をかぶせて軽く押さえる。

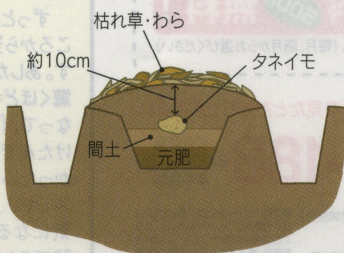


② 管理

植え付け後、湿害にあわないように植え付け溝より深く排水溝を作る。また高温対策に畝に枯れ草やわらを全体にかぶせる。芽が10cmぐらいに伸びたこ

③ 収穫

葉が枯れてから収穫するが、秋植えの場合は霜が降りる前に終わらせる。陰干ししてから風通しのいい場所に貯蔵する(重ねすぎないように)。



ろに、茎の太い芽を1〜2本残してほかの芽をかき取る。必ず片手で株元を押さえ、やや斜めに引き抜く。芽が多いとイモの数はたくさん付くが小型になる。芽かきが終わり15cmぐらいになったら、株の周囲に化成肥料(1株当たり1握り)を施し、5cmぐらいの厚さに土寄せする。つぼみが出たら、もう一度追肥と土寄せをする。

ポイント

- ・秋植えはタネイモを切らずに使う。
- ・草木灰やカリ肥料があれば追肥に使うと良い。
- ・連作を嫌うのでトマト、ナス、ピーマンなどナス科のものを植えた場所には2,3年植えない。